

平成20年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	路網整備でもっと森林整備と木材活用を進める事業
事業主体 (連絡先)	天龍村林業研究会 (0265-26-7286)
事業区分	((6))ウ 森林づくりと林業の振興
事業タイプ	ハード
総事業費	4,500,300円(うち支援金:3,000,000円)

事業内容

搬出間伐を中心とした森林整備の取り組みを拡大し、安定的な木材供給を通じ林業の振興を図るため、林業研究会のメンバー自らが、森林整備のための模範的作業道を開設する。その目的達成のため、作業路開設用重機を導入し、作業路開設を行い、森林整備の推進と、整備された森林のモデル林化を行い、地域の林業関係者等に森林整備と木材活用への意欲を喚起させ、天龍林業の優れた技術と、林業を中心とした山村文化を、未来へ継承していく。



【作業道開設と  
間伐材搬出状況】

自己評価(事業実施率)【 A 】

事業効果

作業路開設専用重機の購入(CAT-305CCR) 1台  
 作業路開設 3路線 1,627m(林業研究会会員関係分のみ)  
 作業路を使った森林整備  
 H20実施 収入間伐 1.5ha  
 H21計画 収入間伐 1.0ha 植栽 2.3ha  
 PR看板接地  
 他地域視察 大阪府指導林家 大橋慶三郎氏所有山林  
 作業路を使った森林整備状況の視察

【目標・ねらい】

- 作業道開設と森林整備推進
- 木材の安定供給(間伐材の搬出)
- 林業振興
- 林業技術の伝承

自己評価(目標達成率)【 B 】

今後の取り組み

作業業道を使った搬出間伐を中心とした森林整備の一層の推進。また間伐材搬出量の増加により木材供給の安定化を図る。  
 搬出技術の向上と伝承を図りながら、モデル的施業地を数多く作り、地域での間伐等森林整備への意欲を喚起する。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。